

花葉会総会

平成28年度一般社団法人花葉会の総会が、平成29年10月14日（土）14：30より、柏市柏の葉にある千葉大学環境健康フィールド科学センター シーズホールにて、開催されました。出席者は33名。

総会は、武内嘉一郎幹部会員の司会進行で、定刻どおり開始されました。三吉一光会長は公務のため欠席で、代わりに國分尚副会長の開会挨拶と千葉大学・園芸学部近況報告がありました。

「千葉大学は三年前の平成26年からスーパーグローバル大学というものに指定され、国際的に活躍できる人材教育および活動をしていくこととなり、その活動が研究室にも波及してきて、今年だけでも花卉研の関係者がミャンマー、カナダ、ロシアへと赴きました。また、国際教養学部が設立されて二年目となりました。園芸学部では今年の3月で官舎が老朽化により閉鎖となりました。図書館も建て替えとなり、事務棟と一つの建物になります。また、昨年からは千葉大学の校友会総会および講演会が学祭と同日の11月3日午後から、けやき会館で行われるようになりましたので、ご興味のあるかたは是非足をお運び下さい。総会の議事・懇親会ともどもよろしくお願ひします」としめくりました。

総会前の幹部会で推薦された長岡求理事長が議長に拍手を持って承認され、議事に入りました。

長岡理事長より「花葉会の総会にあたり、議長を務めさせていただきます。一般社団法人となり、法律上の総会は運営幹部会で検討し決議を取ることとなりました。そのため、この総会では決議を取ることとはなくなりましたが、一般会員の皆さんの意見を聞きたいと思いますので、ご意見や異議がございましたら是非ご発言いただきたいと思います」と挨拶があり、報告に移りました。

(1) 平成28年度事業報告

(平成28年9月1日～平成29年8月31日)

- ①平成28年10月16日 総会
- ②平成28年12月10日「花葉」第35号発行
- ③平成29年5月20日～28日 コーカサス（アルメニア）への海外園芸事情調査
- ④平成29年6月30日 2017年花葉会見学会&交流会（楽樹園、(株)シダラ、(有)ジョルディカワムラ、イッセイ花園、竹原園芸）
- ⑤花産業必修1000属検定（計12回実施）
- ⑥運営幹部会開催は、平成28年10月16日、12月17日、平成29年2月26日、4月29日、6月11日、8月19日の6回。

(2) 平成28年度会計報告

①一般会計報告

収入の部

(平成29年8月31日現在)

前年度 千葉銀行残高+現金残高繰入	1,620,480
会報広告料(35号)	790,000

寄付金	198,843
総会余剰金	80,000
花葉前払い金戻し入れ	6,340
見学会&交流会余剰金	46,014
総会往復はがき受取人払い用事務室預け	31,500
国税還付金(源泉所得及び復興税)	162
預金利息	6
合計	2,773,345円

支出の部

印刷費	0
会報関係	867,084
通信費	7,535
運送費	0
総会費(記念品代等)	164,911
会議費	78,661
事務費	106,797
賃金	435,660
慶弔費	27,270
税金	70,000
日本花普及センター賛助金	30,432
前払い(総会)	20,000
合計	1,808,350円
差引残高	964,995円

②2017花葉会見学会&交流会会計報告

参加者数 見学会41名、交流会31名
収入 483,000円

(内訳)

見学会	8,000円 × 41人	328,000
交流会	5,000円 × 31人	155,000
合計		483,000円

支出	436,986円
(内訳)	
会場費	144,000
印刷費	0
講師謝礼	66,480
参加者昼食代	35,700
通信費	67,466
運送費	0
バス代	110,364
事務費	12,976
合 計	436,986円
差引残高	46,014円
*平成28年度一般会計へ余剰金として繰入	

③基金報告

(平成29年8月31日現在)	
合計金額	8,187,839
(内訳)	
前年度残高	8,188,163
事務費	▲324
合 計	8,187,839円

(3)平成28年度法人財務報告及び監査報告

田中桃三監事より法人としての決算報告書の詳細な説明がされました。

監査は会計ばかりでなく業務と両方をおこない、適正・正確に表示していると報告されました。

(4)平成29年度事業計画(案)

(平成29年9月1日～平成30年8月31日)

- ①運営幹部会(年6回開催予定)
- ②「花葉」36号発行
- ③花卉園芸必修1000属検定
- ④花卉園芸必修1000属検定改訂、テキスト製作
- ⑤2018年花葉会サマーセミナー・見学会&交流会開催
平成30年7月予定
- ⑥海外園芸事情調査
- ⑦総会、花葉会賞の贈呈

(5)平成29年度一般会計予算(案)

収入の部	
前年度繰越金	988,403
会報広告料(36号)	820,000
寄付金収入	100,000
基金より繰入	2,000,000
合 計	3,908,403円
支出の部	
印刷費	50,000
会報関係	820,000
通信費	50,000
運送費	10,000
総会費(記念品代等)	150,000
会議費	150,000
事務費	80,000
賃金	550,000
慶弔費	50,000
税金	35,000
1000属検定 テキスト製作費	1,000,000
予備費	963,403
合 計	3,908,403円

理事長より、「赤字解消のため1000属検定、サマーセミナーをはじめ継続的な収益事業を行なっていくかねばならない」と表明がありました。

(6)役員の一部改選について

金谷健至氏が都合により幹部を退任し、黒沼尊紀氏が就任することが運営幹部会で承認されたとの報告がされました。

黒沼尊紀氏から「本年度よりセンターに着任いたしました。至らない点もあるかと思いますが、諸先輩がたにご指導いただき頑張っていきたいと思っております」と、挨拶がありました。

その他の意見もなく、「皆様のご協力のもと滞りなく進行し、ほぼ時間通り、無事終了することが

でき感謝いたします」と、議長より挨拶があり議事が終了しました。

花葉会賞贈呈

総会に引き続き、花葉会賞の贈呈がありました。長岡理事長より、鈴木邦彦氏(昭和44年総合農学科卒)、山口聰氏(昭和46年園芸学科卒)の2名が紹介されました。園分副会長より賞状と記念品が授与されました。



花葉会賞を受ける鈴木邦彦氏



花葉会賞を受ける山口聰氏

受賞者を代表して鈴木氏より「今回このような賞をいただきありがとうございます。私は園芸学部を出た、花葉会だというおかげで、他がやっていないようなことを仕事としてできました。その中には先輩方の力を借りて、だからこそ様々な事業を進められました。学生時代から遊ぶことの方が主だったものですから、百貨店に入ってから体動かすことが中心となっておりました。そうした中、たまたま堤清二氏が文化に対して非常に思い入れがあったものですからツバキを中心とした西武舞鶴農場、群馬の赤城にツツジ・シャクナゲ園を作るということで園芸関係のことをやらせていただいたのは、大変良かったなあと

思っております。

定年してから振り返ってみて、セゾングループで色々仕事をさせてもらったなあと思い、お礼奉告という意味合いで、土曜、日曜、月曜の15時～19時まで店頭に立って顧客との接触をさせてもらっています。これは自分にとって、健康でいられるのは‘こういう仕事ができた’ということだと思っております。今回こういった素晴らしい賞までいただき、申し訳ないなとも思うのですが、これを機会にまた自分の人生の中で仲間を増やしていければなあと思っております。本日はどうもありがとうございます」との挨拶がありました。



受賞されたお二人

花卉産業必修1000属検定試験

今年度は、合格者がC級3名のみだったので、総会での認定書授与は省略。代表して学部四年生の渡邊勇暁氏より「卒業後は父の後を継ぎ、トルコギキョウの自営を静岡にて行うこととなります。今後先輩方からご指導をいただければと思います」と挨拶がありました。

受賞記念講演

山口聰氏により「私の花育種一神様の隣の席を目指して」のタイトルで受賞記念講演が行われました。



受賞記念講演の様子

懇親会

午後4時30分より、柏の葉キャンパス駅近くのレストラン・ディ・オークビレッジにて野本寿久・高橋耕一の両幹部会員の司会進行により、懇親会が始まりました。

開会の挨拶を鈴木司幹部会員が「セミナーや講義も重要ですが、交流会も人と人との関係ということで非常に重要だと思います。交流の積み重ねがその人の財産になると思います。深い情報を得るためにも対面の場というものを大事にしていきたい。今日はみなさん楽しく交流をしていただければと思います」と、行いました。

乾杯の発声を吉池貞蔵氏が「再来年にはオリンピックがありいろいろな花の話題になっておりますが、ちょうど8月だそうなので、最盛期であるリンドウを関係者の皆様には応援していただければと思います。花葉会のますますの発展と皆様の健康を祈念して乾杯したいと思います」と、行いました。

会場のあちこちで、旧交を温めたり、先輩後輩の交流を図ったりと和やかに進行し、盛会のうちに終了しました。

(文責：編集部)



鈴木司氏による開会の挨拶



吉池貞蔵氏による乾杯のご発声



懇親会風景